

ユーザーガイド **rotec®**

rotec®スリーブおよびアダプターの専門的な取り扱いについて

rotec®スリーブおよびアダプターは、最新の製造技術によって製造されております。使用されている材料は、自社工場で常に一定の品質管理が行われています。rotec®スリーブおよびアダプターの製品特性を最も効率的に利用し、スリーブ/アダプターの寿命を延ばすために、以下の推奨事項を遵守くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。ご質問や技術的な問題が発生した際は、カスタマーサービスまたは営業担当者にお問い合わせください。

空気圧

- + エアシリンダーの空気圧は測定値で、6～**最大 8 bar** (87～最大116 psi) の範囲である必要があります。**8 BAR /116 PSI を超えないようにしてください。**
- + 空気流量は、12リットル/秒 (25cfm) ～最大15 リットル/秒 (31.8 cfm) の範囲にする必要があります。
- + 空気が自由に通り抜けるかどうかご確認ください。これは、エアラインが詰まったり、損傷したりしていないかどうかです。
- + 供給ラインが不必要に長かったり分岐していると、空気量が急激に減少することがあります。
- + 圧縮空気システムとシリンダーの表面には、湿気、オイル、潤滑剤、インクが付着しないようにしてください。
- + 使用前には排気口の穴に詰まりがないかどうか、必ずご確認ください。
- + すべてのrotec® Atlas & CFX アダプタおよび ULW アダプタにご使用いただけます。

⚠ 注意: 重傷または致命的な傷害を防ぐために

アダプタを使用する前に毎回、ウィープホールを通るエアフローを確認してください。内部エアリークが発生した場合の圧力上昇を防ぐことができます。エンドキャップのアダプタの両側に、4～6個のウィープホール(ウォールの厚さに応じて3～8mm幅)があります。ウィープホールには線が引かれています(図1、下図参照)。

1. ウィープホールの1つに1～最大で2秒、空気を当てます。**⚠ 注意: ウィープホールチェック中は保護眼鏡の着用をお願いします。**
2. 他のウィープホールから空気が出てくることを確認します。両端のウィープホールを同時監視するには、2人の人間が必要です。
3. ウィープホールの1つが詰まっている(空気が入らない)場合、手またはドリルで、ブロッキングした異物を慎重に取り除きます(深さ75mmを超えないようにしてください)。元のウィープホールの直径を拡大しないでください。
4. 空気がすべてのウィープホールを流れるまで、(必要に応じて)残りのウィープホールにも同作業を行います。
5. ウィープホールのマークは、2022年11月に更新されました。設計が異なる場合、またはさらにサポートが必要な場合は、XSYS担当者までお問い合わせください。
6. 通常の使用時に空気がウィープホールから漏れる場合は、アダプタの使用を中止してください。



図1: 線が引かれたウィープホール

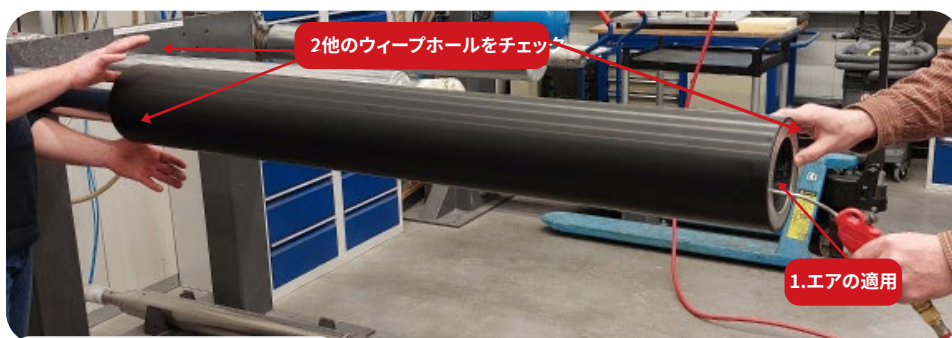


図2: ウィープホールのメンテナンス

rotec®スリーブとアダプターの洗浄とお手入れ

- + スリーブ/アダプターを使用する前に、スリーブの内側と表面、ノッチ、アダプタのレジスタピンが損傷していないか定期的に点検してください。
- + 損傷したスリーブ/アダプターの印刷への使用は控えください。
- + 表面特性を維持するには、油、潤滑剤、インク、テープの残留物をできるだけ早く取り除く必要があります。
- + 強固な汚れは、柔らかいナイロンブラシで落とすことができます。
- + 洗浄液としては、エタノール、プロパノール、イソプロパノール、水などが適しています。
- + グリースやオイルを含む洗浄液は表面特性に悪影響を及ぼすため、絶対に使用しないでください。
- + スリーブ/アダプターは、酸、アルカリ性溶液、塩類溶液、または表面を傷つける恐れのある鋭利なもので清掃しないでください。
- + 表面全体は、最小限の量の洗浄液と清潔な布で拭いてください。残った洗浄液はすぐに拭き取ってください。

- + 洗浄液はプレート/テープの間からは蒸発しにくいので、使用後、プレートは常に取り外してください。スリーブや印刷版を装着したままクリーニングする際は、テープとスリーブの間に洗浄液が残らないよう、ご確認ください。
- + スリーブ/アダプターの洗浄後、洗浄液が完全に蒸発するまでには30分以上かかります。
- + スリーブの端は、常に液体から保護する必要があります。
- + 取り付け特性を良好な状態に維持するには、適切な洗浄液でインナーベースをクリーニングしてください。
- + インナーベースから抜けたグラスファイバーフィラメントは、研磨して取り除くことができます。ファイバーを引き抜くのはご遠慮ください。

オメガサーフェステクノロジー

- + rotec®スリーブおよびアダプターは、フレキシ印刷機に溶剤を含むインキやワニスを印刷する際に、静電気の帯電を許容できる程度に抑えるために、Ωサーフェステクノロジーを用いて開発されました。
- + rotec®のΩ-サーフェステクノロジースリーブおよびアダプターは、BG情報、ステータス11/2003、注文番号452、ATEX EU指令番号2014/34/EU (旧 ATEX 95) の要求するブリーダ抵抗 $10^{\circ}\Omega$ に適合します。
- + rotec®Ω-サーフェステクノロジーにより、全面の静電気帯電を未然に防ぐことができます。
- + ブリーダ抵抗は、使用前に毎回チェックする必要があります。
- + 本機能は、基本的にはエアシリンダーが接地されている場合のみ機能します。
- + XSYS以外のメーカーに再加工によってスリーブ/アダプターにつきましては、一切の責任を負いかねます。

クッション性を持つ導電性 rotec®スリーブ/アダプターに関する特別なアドバイス

- + 恒久的な導電性を確保するには、スリーブ/アダプターを高温にさらさないでください。例：プレートの取り外しは、ヘアドライヤー、熱風ラジエーター、その他類似装置の使用は控えてください。
- + ヘアスプレー、ニスなどの絶縁材は導電性に悪影響を及ぼすため、塗り重ねたりするのはご遠慮ください。
- + 研磨紙や硬いブラシの使用はご遠慮ください。

プレートの取り付け

- + オイル、潤滑剤、インク、テープの残滓は、テープの接着特性に影響を与えます。
- + 気泡が入らないようにテープを貼るには、柔らかいプラスチック製のローラーの使用を推奨します。
- + プレートを貼りこむ際も気泡がない状態で取り付けてください。柔らかいプラスチック製のローラーを推奨します。
- + PVC/PE粘着テープなら、スリーブの露出した表面を効果的に保護することができます。
- + 決してエッジシーラーをスリーブに直接貼らないでください。エッジシーラーはテープにのみ使用ください！
- + テープを切断する際は表面を傷つける可能性があるため、rotec®切断用定規をご使用ください。
- + プレート先端の浮き上がりを防ぐため、テープとプレートの隙間は最低 30° に調整してください。

プレートの取り外し

- + 一定のテンションをかけながら、ゆっくりと慎重にプレートを剥がしてください。テンションをかけすぎると、プレートが損傷してしまう可能性があります。
- + テープを角から斜めにゆっくりと引き剥がしていきます。
- + テープ残滓は直ちに剥がします (クリーニングとお手入れをご参照ください)。

rotec®スリーブおよびアダプターの保管について

スリーブの保管システムを使用されない場合は、以下の点にご注意ください。

- + 基本的に、スリーブ/アダプターは直立状態で保管してください。
- + 直立状態で保管したスリーブ/アダプターは、倒れないよう固定する必要があります。
- + スリーブ/アダプターを積み重ねるのはご遠慮ください。
- + スリーブ/アダプターのTIR (合計表示ランアウト) は、一定の重量負荷と応力によって影響を受ける可能性があります。
- + スリーブ/アダプターの寿命は、高温・高湿の環境下 (熱帯地域) で使用した場合、その影響を受けることがあります。
- + 指定されている外径は、保管温度20~21°C (68~70°F)、湿度50%の環境下でのみ有効です。